

広島版「学びの変革」アクション・プラン

生活単元学習

目指す資質・能力

<個別の知識・技能>

バケツ苗の観察を通して、植物の成長過程について知る。

(知識)

<思考力・判断力・表現力等>

昨年度の活動のDVDを見ることを通して、育てる際の注意点を考える。

I C T機器を使用しながら、観察記録や気付いたことをまとめる。

(課題発見・解決力, 表現力)

<学びに向かう力, 人間性等>

先輩の活動内容を見ることを通して、バケツ苗を上手に育てようとする意欲をもつ。

(主体性, 積極性)

○学年 聴覚障害部門 小学部 第3・5学年(重複)

○単元名 「バケツ苗を育てよう」

○単元の目標 バケツ苗の観察により、成長の様子に気付きまとめる。

バケツ苗を育てる学習により、米への愛着をもち、主食のご飯を感謝して食べる心情を育てる。

○単元計画 (13時間 1学期は3時間)

①課題発見(1時間)

バケツ苗の育て方について、6年生が昨年度作成したDVDを見て、収穫までの見通しをもつ。

②情報の収集(2時間)

バケツ苗を植える活動を通して、他の作物の植え方との違いに気付く。

バケツ苗を観察を通して、成長の様子や気付いたことをお米日記にまとめる。

課題発見・解決学習（ICT機器の活用シート）

授業場所	<input checked="" type="checkbox"/> 普通教室 <input checked="" type="checkbox"/> パソコン室 <input checked="" type="checkbox"/> 視聴覚室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input checked="" type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業（指導）形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> ペア学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> その他（ ）
単元の過程 活用場面	<input type="checkbox"/> 課題の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 情報の収集 <input type="checkbox"/> 整理・分析 <input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
主に活用する者	<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT機器活用の目的および目標	○目的 ・バケツで稲を育てることについて見通しをもつ。 ・ICTを活用しタイムリーに観察記録をつけまとめることができる。 ○目標 ・先輩が作成した「バケツ苗を育てよう」のビデオを見て、収穫して精米するまでの過程について知ることができる。 ・成長の観察について効果的にまとめる。
使用機器	<input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> プロジェクタ <input type="checkbox"/> スクリーン <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタルカメラ <input type="checkbox"/> デジタルビデオ <input checked="" type="checkbox"/> その他（教室に設置してあるテレビ，先輩が製作したDVD ）

ICT機器活用の実践記録

単元名・計画	学習内容	ICT機器の活用内容 (○機器操作等の支援・留意点 ☆目標に対する評価基準・方法)	ICT機器の活用時の様子
3年 「バケツなえをそだてよう」 5年 「バケツ苗を育てよう」 ① 課題発見	①バケツ稲の育て方について先輩のDVDを見て、収穫までの見通しをもつ。	○DVDを見る前に6年生から、作成したDVDについて紹介をもらった。クイズの所では一時停止を押し、見ている児童がしっかり考えることができる時間をとった。 ☆育てる見通しというより	・お米を育てた経験がないので、見たばかりの時には育てる見通しをもつことよりも6年生が活動したことが印象として残ったようだった。 ・6年生がDVDを作

<p>② 情報の収集</p>	<p>②お米日記として、観察記録を定期的につけている。</p>	<p>も、今まで経験がないことに対して、チャレンジしてみようという気持ちを抱くことができたようだ。</p> <p>○児童がバケツ稲の写真をiPadで撮影したものを教員が印刷し、次の日その写真にコメントするように記録をつけた。稲の丈や気温、稲の様子などを忘れてしまうので、写真を撮った時にすぐ畑でまとめられるように「Sketch」というアプリを使用した。</p> <p>○機器の操作方法を知るために時間を新たに設定する必要があった。</p> <p>☆ICTを活用し観察記録をつけることで、タイムリーにまとめることができたが、まとめたものは、後から印刷した方が良かった。</p>	<p>成していたことを思い出し、よくがんばってビデオ撮りをしたなと感じていたようだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次はどんなことをするのか、苗の育て方の冊子を何度も見て確認する様子が見られた。 ・すずめに食べられないようにネットをかけないということが印象として強く残っていて、それを気にして、どうするの?と教員に聞く場面があった。 ・お米を収穫したら、何を作って食べようかと楽しみにする様子が多く見られた。
----------------	---------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1) 成果

先輩の作ったDVDは実際に自分たちがどのように育てていくのかの見通しをもつことができたようでとても有意義であった。

(2) 課題・感想

ICT機器を活用する場合、使用の仕方を指導する時間が必要なため、時数の調整が必要だと感じた。

2学期以降も継続して学習していくので、まとめや、調べ学習などを通して、より課題発見解決学習を展開していきたい。



バケツ苗の様子を
iPad で撮影して
いるところ。